

インフォメーション

春夏製品のご案内



こてっちゃん コク味噌味

こてっちゃんのお味のポイントは、クセになるコクと旨みです。3種類の味噌を使った合わせ味噌とローストガーリックを使用したコクの深いたれで仕上げました。



大人のこてっちゃん 旨辛牛ホルモン焼用

味噌と醤油のコクのある旨みと、唐辛子の後引く辛さで旨みの後に辛さを感じられる「旨辛味」に仕上げました。



大人のこてっちゃん 旨塩牛ホルモン焼用

2種類のんにく(おろし・ロースト)と調味エキスで旨み・コクの余韻が残る「旨塩味」に仕上げました。



こてっちゃん 牛ホルモン炒めシリーズ

こてっちゃん牛ホルモン炒めシリーズに新しい味が変わり、さらに牛もつもプリッととした食感にリニューアルしました。

新発売



こてっちゃん
牛ホルモンとたまねぎの
うま辛炒め

リニューアル



こてっちゃん
牛ホルモンとキャベツの
コク味噌炒め

リニューアル



こてっちゃん
牛ホルモンともやし
のんにく塩炒め

株主ご優待のお知らせ

株主の皆さまだけにお届けします。

ご優待内容

■2月末の株主さま

◎2,000株以上保有の株主さま

「10,000円相当の国産牛肉、または、国産豚肉」

◎500～1,999株保有の株主さま「3,000円相当の自社グループ製品」

※上記の国産牛肉(豚肉)および自社製品は11月にお送り致します。

■2月末、8月末の株主さま

◎100株以上保有の株主さま一律「当社オリジナルギフト商品を優待価格にて販売」

※6月、11月に対象株主さまに販売のご案内をさせていただきます。

国産牛肉(和牛) 弊社が厳選した国産牛肉、豚肉の逸品。注:2,000株以上保有



ローズスライス



ローズステーキ

国産豚肉(ゆめの大地)



※写真はイメージです。
料理写真の野菜、仕器等は
ご優待セットには含まれておりません。

会社概要

社名	エスフーズ株式会社 SFoods Inc.(コード番号2292東証プライム市場)
設立	1967年(昭和42年)5月22日
代表者	代表取締役社長 村上真之助
資本金	42億9,835万円
事業内容 (グループ)	食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業

株式メモ

■事業年度	毎年3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日	毎年2月末日
■中間配当金受領株主確定日	毎年8月31日
■定時株主総会	毎年5月
■株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人 事務取扱場所 郵送物送付先	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 ☎0120-782-031(通話無料) 受付時間9:00～17:00(土日休日を除く)
インターネット ホームページURL	https://www.smb.jp/personal/agency/

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場証券取引所	東京証券取引所
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■単元株式数	100株



SFoods News

2024年2月期

2023年3月1日～2024年2月29日



代表取締役社長
村上 真之助

事業の概況に についてのご報告

当連結会計年度における日本経済は、輸出関連を中心に企業業績は好調に推移し、全般的に回復基調にありました。ただ、消費者の景況感、賃金も上昇の途に就いたものの、消費者物価の上昇率に追いついておらず、いまだ、低調なまま推移しております。

当食肉業界においては、原材料や物流のコスト高騰による収益性悪化に対して、消費者の節約志向のため、商品価格転嫁が進まず、苦しい状況におかれ続けております。

このような状況のもと、当社グループは、「魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する」、「企業の成長発展とともに、生活・文化の向上を図る」という社是に基づき、お客様に安全安心な食肉商品を安定的にお届けすることを優先課題として、事業の継続と発展に努めました。



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜一丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表)
https://www.sfoods.co.jp

▼食肉等の製造・卸売事業においては、成長を続ける世界と少子高齢化が進む日本との経済バランスの変化に対応した当社独自の事業戦略の構築に努めました。米国では、米国産高級牛肉の調達力の向上を目指したオーロラビーフの新工場建設プロジェクトを進めており、来年には稼働開始の予定となっております。北海道では、国産豚肉の増頭プロジェクトが昨年完了し、北海道産という地の利を生かした販売強化と輸出促進に努めております。国産牛肉事業につきましては、着実に取扱数量の増加と和牛の輸出量拡大に努めました。製品事業においては、本年度新たに「こてっちゃんFamily」というブランドを立ち上げ、メインブランドの「こてっちゃん」に加えて、バラエティ豊かなホルモンの商材を使った食肉製品の展開を始めました。また、冷凍食品など、今まで取り組めていなかった分野への挑戦にも積極的に取り組んでおります。



食肉等の小売事業においては、新規ディベロッパーとの取組みを含めた出店や改装店の立ち上げの他、新業態店舗モデルの開発及び推進を図っております。また既存店の活性化を図るためのイベント型提案販売やレイアウトの再構築等を実施してまいりました。

食肉等の外食事業においては、行動制限の緩和により回復基調がみられ、インバウンドや大型のパーティー需要も寄与し、原材料費やエネルギー価格の上昇を受けながら、メニュー改定を実施するなどの施策を行ってまいりました。今後も競争力向上のための施策を実施してまいります。

以上の結果、売上高は4,250億1千1百万円(前連結会計年度比6.5%増)、営業利益は126億7千3百万円(前連結会計年度比13.0%減)、経常利益は143億9千万円(前連結会計年度比9.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は90億7千3百万円(前連結会計年度比14.2%減)となりました。

今後の見通し

コロナ禍の終焉とともに日本経済も回復基調に乗り、日経平均株価も順調に上がっております。ただ、世界経済の中の日本の立ち位置を考えると、日本企業の競争力の低下や長引く円安による輸入コスト高など不安要因は多くあります。

このような状況下、当社グループとしては、長年構築してきた食肉関連事業の垂直統合の利点を最大限に生かして、食品の安定供給に努めると共に、確固とした経営地盤の構築に取り組んでまいります。

食肉等の製造・卸売事業においては、国際的な食品原料調達競争の激化を見越し、国内外の食肉調達能力の強化を図ります。特に海外では、積極的な投資をしていきます。国内においては、川上事業との連携を深め、安定的な原料供給網を築いていきます。



オーロラビーフ新工場完成予想図

製品事業については、当社が優位性を持つバラエティーミートや国産牛を原料として使用した製品の開発・販促に取り組みます。また、若い世代をターゲットとしてSNSなどを利用した宣伝活動に、より力を入れていきます。

食肉等の小売事業においては、引き続き既存店活性化や、不採算店閉鎖を継続しつつ、新規ディベロッパーへの出店や、新業態店舗への取り組みを進めてまいります。出店に関しましても、立地条件、契約条件、競合、収益性を精査しながら総合的かつ慎重に検討を行い、周辺領域への新規展開も行うことで収益の多様化を図ってまいります。

食肉等の外食事業においては、需要の高まりも見込まれながら、従来からの着実な採算重視の経営を維持しつつ、ステーキレストラン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業の競争力を持たせながら着実に運営するとともに新店の開発にも注力する計画です。

経営品質の向上については、重要なステークホルダーへの着実な還元を進めていきます。株主への配当につきましては、当社は連結の株主資本配当率2.5%を目途に、安定的な利益還元を目指してまいります。また、従業員の満足度を高めるため、本年より健康経営推進室を創設し、会社の成長の原動力である従業員の働きやすい環境の整備に努めてまいります。

次期の見通しにつきましては、売上高4,450億円(前年同期比4.7%

増)、営業利益115億円(前年同期比9.3%減)、経常利益125億円(前年同期比13.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益80億円(前年同期比11.8%減)を見込んでおります。

中長期的な会社の経営戦略

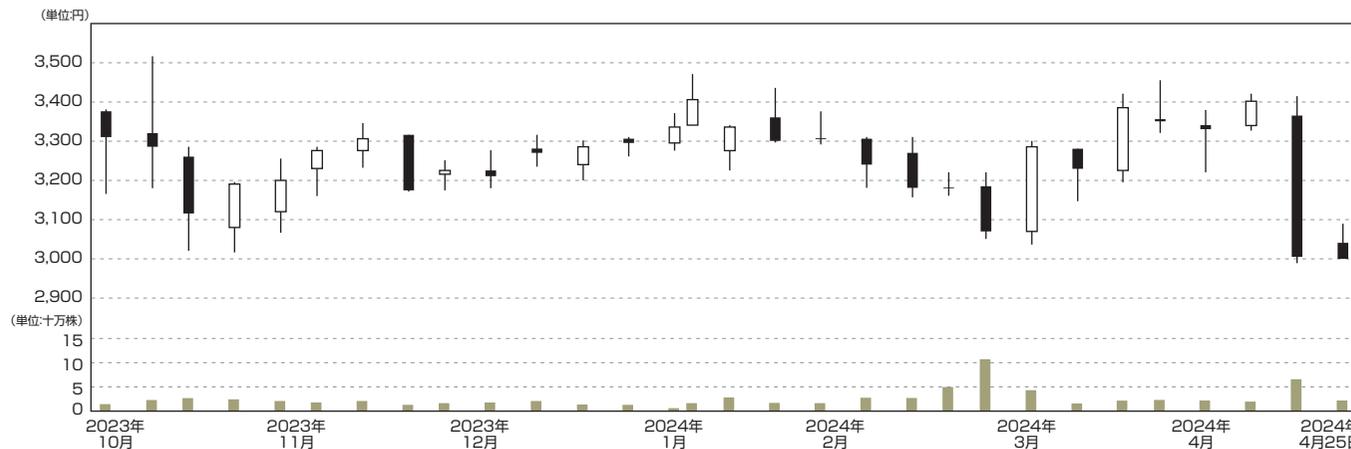
当社グループは、経営の基本方針に沿って食肉の総合企業集団を目指しており、食肉を中心とした食品の安定的な供給体制の確立に引き続き取り組んでまいります。具体的には、食肉の生産、調達、加工、流通、及び最終消費者向け販売・サービスという食肉流通の川上領域から川下領域まで一貫したグループ内食肉サプライチェーンの構築を進めます。さらに、国内に留まらず海外における食肉流通機能も拡充することにより、社会情勢の変動への対応力を高めてまいります。

営業成績と財産状況の推移(連結)

期別 区分	第56期 2022年2月期	第57期 2023年2月期	第58期 2024年2月期	第59期見通し 2025年2月期
売上高	358,824	399,208	425,011	445,000
営業利益	17,427	14,571	12,673	11,500
経常利益	17,999	15,841	14,390	12,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,944	10,570	9,073	8,000
総資産	181,518	204,778	224,240	
純資産	106,157	117,306	126,576	
1株当りの年間配当金	70円	78円	84円	89円

単位：百万円(配当金を除く)

●株価の推移と株式の売買高



※東証:適足データ